

ITツールを利用し、会議の  
合理化を図っている。



## IT活用や新たな発想で 課題解決を積み重ね、 モチベーション溢れる職場創出

### 株式会社ケイエスディ

#### 業務マニュアルによる 多能工化の推進

株式会社ケイエスディはソフトウェアの設計・販売、特に金融機関向けのバンキングシステムパッケージの開発・導入を手がける。総務部門以外の社員は顧客である金融機関内で業務を行っている。

「会社は、社員とその家族が幸せになるために存在するもの。5年、10年先を見据え、永続的に経営を続けなければならない。そのためには、社員に『良い会社だ』と思ってもらえるように努力し、同時に社員にも質の高い仕事をしてもらう必要がある」と語る黒田亘代表取締役会長。このような考えから社員が最大限の力を発揮できる環境づくりを進めてきた。

同社では、年次有給休暇の取得を積極的に推進し、2020年までに取得率70%を目指している。具体的には、「計画的付与制度」を採用し、夏と冬に合計5日間取得することとしており、さらに、申請書への取得理由の記載を原則不要としている。

また、多岐にわたる業務を少人数でこなす総務部門は、かつては休みづらい状況だったが、業務マニュアルを作成し多能工

化を図ることによって、特定の人が休むと業務が滞るといった事態が解消され、気兼ねなく休めるようになった。こうした取り組みの結果、昨年度、年次有給休暇の取得率が初めて50%を越えた。2018年12月時点で、56%を達成しており、順調に伸びている。

#### オープン経営で 社員のモチベーション向上

社員の仕事に対するモチベーションを高めるために、成果主義に基づき、「年俸制度」を採用（総務部門以外）している。さらに、年2回の賞与のほか、最終利益の3分の1を決算賞与として全社員に還元している。業務の性質上、各社員の売上が明確であるため、その売上に対する労働時間を考慮して、社員に分配している。つまり、生産性の高い社員がより高く評価される仕組みだ。こうした取り組みにより、同社の残業時間は少なくなっている。また、常に社員一丸となって業務に取り組むために会社の収支状況を社員に公開している。

さらに、ITを活用した効率化も進めている。その一つがテレビ会議システムの導入だ。同社の就業拠点は石川県、関東・中部地方に点在しているが、テレビ会議システムにより移動に費やしていた時間と費用を削減。また、会議資料を事前にグループウェア上のフォルダに格納し、閲覧した上で会議に参加するルールとすることで、会議を議論から開始でき、時間が短縮された。「会議時間の短縮を積み重ねれば、多くの時間が生まれる」と黒田会長は話す。

さらに、勤務時間の報告や残業申請等がスマートフォンでできる自社開発の労務管理アプリを2019年2月から導入。社員の多くが金融機関内で業務を行い、セキュリティの問題でPCの外部接続が限られるケースがあるため、勤務時間は月次で本社に報告していたが、このアプリにより勤務時間を随時報告できるようになった。さらに、残業申請の際に申請事由を明記する機能を追加。こうした仕組みにより、管理職は、社員が抱える仕事上の支障や悩みなど勤務時間が長引く原因を把握し、速やかに対策することができる。「管理職には、労務管理は『業務の進捗管理』や『心身のケア』まで行うよう指示している」と黒田会長は話す。

さらに、今年度は、石川県、協会けんぽ、白山商工会議所から「健康経営」に関する認定を受けた。今後、健康診断結果の有効活用、フットサルサークルの活動等、さらに力を入れていく考えだ。

「働き方改革は今に始まったことではなく、本来、企業として意識し取り組むべきことだ。真摯に受け止め、当社の課題解決に向け頑張りたい」と黒田会長は話し、これからも独自の改革を進めていく。



改革を進める黒田会長と竹中敬常務取締役(右)、三巻謙二総務部部长(左)

#### DATE

所在地 白山市三浦町588-1

代表者 黒田 亘

設立 1991年

従業員数

48名(男:43名/女:5名)

事業内容

コンピュータ・ソフトウェアの設計・開発・販売